

# 曲のイメージをつかむ【理由付ける】クラゲチャート

【校種・学年】 小学校第2学年

【教科・領域】 音楽科

【実践の概要】


- 1 単元名 <音のスケッチ> 「ウィーンの音楽時計」
- 2 単元の目標 音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。

3 本時の実際

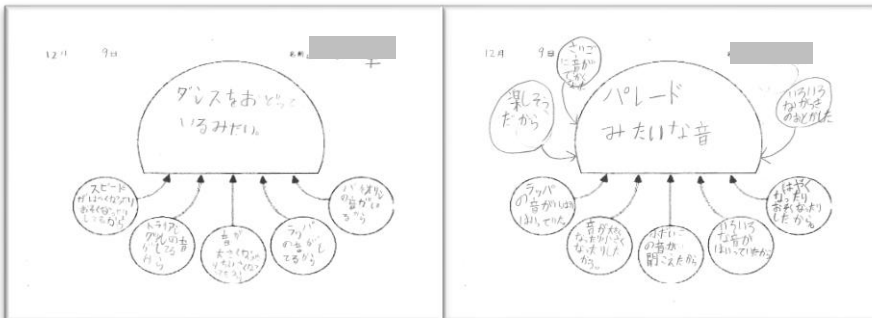
(1) 本時の目標

楽器の音色や音の重なり、テンポなどに着目し、それらが生み出す曲の印象について考える。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○学習の見通しをもつ ・音楽を聞き、気付いたことをクラゲチャートに記入し、それをもとに曲のイメージを短い言葉でまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">聞こえてきた音からどんな曲かそうぞうしよう。</div>	
展開	○「 <b>曲のテンポ</b> 」「 <b>使われている楽器</b> 」「 <b>音の大小</b> 」「 <b>明るい、暗い</b> 」など、 <b>感じたり聞こえてきたりしたことを足の部分にメモする。(個人思考)</b> ○ <b>メモをもとに、曲のイメージを言葉で表す。</b>	視点2 (2) 「多様な情報を収集する」  視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○理由をいくつか挙げながら、曲のイメージを紹介し合う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">音の大きさやリズム、楽器などをじっくり聞いてみるとどんな曲かそうぞうしやすい。</div>	

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

○テンポ、楽器、音の大小など、いくつか感じたことをもとに、曲のイメージを具体的な言葉にすることができていた。

■低学年ならば、足の部分に観点を入れるなどの工夫をしてもよかった。